



第67回国民体育大会ホッケー競技会



第67回国民体育大会ホッケー競技会

開催日時 10 月 3 日 (水) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

〈Aコート〉

第1試合 少年女子 準決勝 9:00	岐阜県	18	$\begin{pmatrix} 8 & - & 0 \\ 10 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	香川県
第2試合 少年男子 準決勝 10:30	岐阜県	3	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	福井県
第3試合 成年男子 3位決定戦 12:00	東京都	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$	4	岐阜県
第4試合 成年男子 決勝戦 13:30	愛知県	6	$\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	島根県

〈Bコート〉

第1試合 少年女子 準決勝 9:00	栃木県	2	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ PS 4 - 3	2	福井県
第2試合 少年男子 準決勝 10:30	鹿児島県	3	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 4 \end{pmatrix}$	4	滋賀県

【各試合の結果・詳細】

〈Aコート〉

第1試合 少年女子準決勝

$$\text{岐阜県 } 18 \begin{pmatrix} 8 & - & 0 \\ 10 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 香川県}$$

<得点>

岐阜県 : 1分 21分 28分 49分 65分 #8八木、2分 6分 10分 67分 #5永井、20分 #7田村
26分 50分 #12足立、43分 #2可児、46分 70分 #11竹市、54分 #9羽田、55分 #13山月
61分 #4小川

香川県 :

<戦評>

香川県のセンターパスにより前半戦が開始された。開始早々岐阜県は猛攻を仕掛け、1分右の回り込みから#8八木が鋭いリバースシュートで先制点を挙げる。その後も#5永井を中心に丁寧なパスワークで岐阜県の猛攻は続く。2分、6分、10分、20分、21分、26分、28分に得点を挙げ、香川県を引き離す。1点がほしい香川県は33分サークルトップからゴール前にボールを送り、#13秋山がダイレクトでスイープシュートを放つも得点には至らない。0-8のまま前半戦を折り返す
後半に入り、岐阜県の攻撃が続くも香川県が粘り強い守備を見せる。43分岐阜県がPCを取得。#2可児の強烈なストレートで追加点を挙げる。岐阜県の勢いは止まらず、46分、49分、50分、54分、55分、61分、65分、67分、70分と大量得点を挙げ圧勝。0-18で岐阜県が決勝戦へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	渡邊 希一		我妻 順子

第2試合 少年男子準決勝

$$\text{岐阜県 } 3 \begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix} 2 \text{ 福井県}$$

<得点>

岐阜県 : 17分 28分 #7小林、42分 #2内藤
福井県 : 51分 #2高田、70分 #10馬谷

<戦評>

福井県のセンターパスにより前半戦が開始された。一進一退の攻防が続く中、4分福井県#7青山がグリーンカードで退場となる。1人少ない中で福井県は安定した攻撃を見せるが得点には至らない。対する岐阜県は17分#9福田からのパスを#7小林が受け、GKを抜きリバースシュートを決め先制する。1点を返したい福井県は#9宮崎を中心にスピードある攻撃を仕掛けるが得点には結びつかない。勢いにのった岐阜県は28分#11三島が打ったシュートをGK#1國友がはじきリバウンド#7小林がリバースシュートで決め2点目を挙げる。2-0のまま前半戦を折り返した。
後半に入り、42分岐阜県がPCを取得。#2内藤が豪快にドラッグを右上に決め追加点を挙げる。対する福井県も左からの回り込みでPCを取得。#2高田がGKの股下にドラッグシュートを決め1点を返す。岐阜県は速攻から得点を狙うが、チャンスを活かすことが出来ない。70分福井県がPCを取得。#10馬谷がバリエーションでタッチシュートを決めるが、そのまま試合は終了。3-2で岐阜県が3年連続12回目の優勝を果たした。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	福山 秀人
ジャッジ	西村 稔		木下 英貴

第3試合 成年男子3位決定戦

$$\text{東京都} \quad 1 \quad \begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix} \quad 4 \quad \text{岐阜県}$$

<得点>

東京都 : 5分 #13吉田

岐阜県 : 16分 #13辻、47分 #2百成、49分 #12小池、67分 #11伊藤

<戦評>

岐阜県のセンターパスにより前半戦が開始された。5分、東京都はPCを取得。#13吉田が強烈なドラッグシュートを決め先制点を挙げる。追いつきたい岐阜県はスピードのある攻撃を仕掛け、16分#13辻がゴール前で冷静にGKを交わして得点。同点に追いつく。1-1の引き分けのまま前半戦を折り返した。

後半に入り、岐阜県は#12小池を中心とした攻撃を仕掛け、47分PCを取得。#2百成が豪快なドラッグシュートを決め、2点目を挙げる。さらに49分、#7杉下からのセンターリングを#12小池がスライディングでタッチシュートし、3点目を挙げ、リードを広げる。1点を返したい東京都は#13吉田を中心に攻め込むも、岐阜県の堅い守備により、チャンスをつくることが出来ない。岐阜県は、67分#11伊藤がセンターリングからのパスを受け、冷静に判断しシュート。4点目を挙げる。1-4のまま試合は終了し、岐阜県が勝利し3位となった。

テクニカルオフィサー	黒木 繁紀	アンパイア	西間庭 浩
ジャッジ	横田 信明		宮川 敏充
サゼスチョンアンパイア	鈴木 茂明 成田 健一		

第4試合 成年男子決勝戦

$$\text{愛知県} \quad 6 \quad \begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix} \quad 0 \quad \text{島根県}$$

<得点>

愛知県 : 5分 9分 55分 #7橘、26分 #2長澤、54分 #12坪内、69分 #11川上

島根県 :

<戦評>

愛知県のセンターパスにより前半戦が開始された。開始5分、島根県#10落合が右から回り込みPCを取得。#2岩田が強烈なヒットシュートを放つも、得点にはならず、クリアボールから愛知県が速攻。#7橘が余裕を持ったプッシュシュートで先制点を挙げる。勢いに乗る愛知県は9分、再び#7橘が右から回り込み、豪快なヒッティングで2点目を挙げる。対する島根県はスピードのある攻撃でサークルインし、チャンスをつくるも決めきることが出来ない。26分、愛知県はPCを取得。#2長澤がドラッグシュートを決め、島根県を引き離す。3-0で前半戦を折り返した。

後半に入ると、試合は愛知県ペースで進む。愛知県は54分#12坪内、55分#7橘が得点し5-0とする。1点を取り返したい島根県は強いストロークで前線へボールを送るも、チャンスをつくることが出来ない。愛知県は69分#11川上が冷静にGKを交わし、リバースシュートを決め、6点目を挙げる。6-0で試合は終了し、愛知県が3年連続27回目の優勝を果たした。

テクニカルオフィサー	長田 和雄	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	松原 和朗		野澤 達
サゼスチョンアンパイア	平尾 豊 重森 誠		

〈Bコート〉

第1試合 少年女子準決勝

$$\begin{array}{ccc} \text{栃木県} & 2 & \left(\begin{array}{cc} 1 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \end{array} \right) & 2 & \text{福井県} \\ & & \text{PS} & & 4 - 3 \end{array}$$

〈得点〉

栃木県 : 30分 #10山口、50分 #13村山
福井県 : 19分 #9佐々木、45分 #7三谷

〈戦評〉

福井県のセンターパスにより前半戦が開始された。開始早々福井県が2分、3分とPCを取得するが、栃木県の粘り強い守備に先制することが出来ない。対する栃木県もロングパスからの攻撃で相手陣内に攻め込むが、チャンスをもたない。19分、福井県 #9佐々木がドリブルで相手を交わし、シュートを決め先制点を挙げる。1点を返したい栃木県は30分、PCを取得。#10山口が強烈なシュートを放ち同点に追いつく。1-1の同点のまま前半戦を折り返した。

後半に入り、45分、福井県がPCを取得。#3高橋のボールを#7三谷がタッチシュートで決め1-2とリードする。同点に追い付きたい栃木県は、50分 #8加藤のセンターリングを#13村山がタッチシュートで決め同点に追いつく。両者共にスピードあふれる攻撃を仕掛けるも、決定的なチャンスには結びつかない。同点のまま試合は終了し、PS戦へと持ち込まれた。

PS戦の結果、4-3で栃木県が勝利し、明日の決勝へと駒を進めた。

テクニカルオフィサー	荻谷 和代	アンパイア	竹内 高広
ジャッジ	大橋 守		谷川 昌子

第2試合 少年男子準決勝

$$\begin{array}{ccc} \text{鹿児島県} & 3 & \left(\begin{array}{cc} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 4 \end{array} \right) & 4 & \text{滋賀県} \end{array}$$

〈得点〉

鹿児島県 : 19分 39分 #10川畑、29分 #8木下
滋賀県 : 51分 #5山田、55分 #10和田、64分 #2上田、66分 #6山水

〈戦評〉

滋賀県のセンターパスにより試合が開始された。滋賀県は丁寧なパスワークでサークルインし、得点のチャンスをつくるも、鹿児島県の必死な守備に阻まれる。試合が動いたのは19分、鹿児島県 #10川畑がスピードのあるドリブルで持ち込み、ループシュートを決め、先制する。勢いづいた鹿児島県は29分、PCを取得。#8木下が強烈なヒットシュートで2点目を挙げる。1点を返したい滋賀県は、30分、31分に連続してPCを取得するも、決めきることが出来ない。2-0のまま前半戦を折り返した。

後半に入り、鹿児島県の勢いは止まらず、39分 #8木下から #10川畑がダイレクトパスを受ける。プッシュシュートを放ち、1度はGKに阻まれるも、こぼれ球を押し込み、3点目を挙げ、滋賀県を引き離す。連覇の懸かる滋賀県も意地を見せ、51分PCを取得。#5山田が豪快にリバースシュートを決め、1点を返す。ペースをつかんだ滋賀県は55分 #10和田、64分 #2上田が得点し、同点に追いつく。さらに66分PCを取得し、#6山水が確実に決め逆転する。鹿児島県も反撃を見せるもそのまま試合は終了。3-4で滋賀県が勝利し2年連続、4度目の優勝を果たした。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	出橋 英児		渡邊 道彦

明日の組み合わせ

〈Aコート〉

第1試合 少年女子 決勝戦 9:00	岐阜県	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	栃木県
第2試合 成年女子 決勝戦 10:30	岐阜県	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	広島県

〈Bコート〉

第1試合 少年女子 3位決定戦 9:00	香川県	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	福井県
第2試合 成年女子 3位決定戦 10:30	栃木県	0	$\left(\begin{array}{c} - \\ - \end{array} \right)$	0	奈良県

第67回 国民体育大会 ホッケー競技 成績

【成年男子】

第1位	愛知県	3年連続27度目の優勝
第2位	島根県	
第3位	岐阜県	
第4位	東京都	
第5位	鹿児島県	
	岩手県	
	北海道	
	富山県	

【少年男子】

第1位	岐阜県	3年連続12度目の優勝
第1位	滋賀県	2年連続4度目の優勝
第3位	福井県	
第3位	鹿児島県	
第5位	埼玉県	
	北海道	
	愛媛県	
	島根県	